

# 松ヶ崎社協だより

発行  
松ヶ崎社会福祉協議会  
発行者  
西野信雄  
編集責任者  
関口力

## 平成25年度の事業

- 4月** 25年度総会
- 7月** ふれあい会食会の実施  
寝具クリーニングの実施
- 8月** 自治連合会主催「夏まつり」への協力参加
- 9月** 児童館「おやこまつり」への協力参加  
敬老記念品配布（75歳以上）  
学区社協活動交流会への参加
- 10月** 体育振興会主催  
「区民運動会」への協力参加  
京都市総合防災訓練への参加  
敬老会（於アピカルイン）の実施  
「社協だより」第31号発行
- 11月** 左京区社会福祉大会への参加
- 12月** 第3回「カラオケ」を楽しむ会
- 1月** 児童館との共催  
「餅つき大会」への協力参加
- 3月** 「社協だより」第32号発行
- 健康すこやか学級**  
5月・6月・9月・11月・3月に実施
- 訪問ネットワーク**  
独居老人宅へ毎月随時訪問
- 子育てサロン**  
毎月第1月曜日（児童館）に実施

みなさんこんにちは。四月より京都市立松ヶ崎小学校で校長をしております池田利勝です。どうぞよろしくお願い申し上げます。日頃は、本校の子どもたちが、地域の色々なところ、色々な場面でお世話になりありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、この度、関口会長代行より原稿の依頼を受けました。この時、私は、福祉協議会から社会福祉協議会とはどんなん組織なのか、確かなことを知らないと気付きました。そこで、少し

みなさんこんにちは。四月よ

り京都市立松ヶ崎小学校で校長

をしております池田利勝です。

どうぞよろしくお願い申し上げ

ます。日頃は、本校の子どもた

ちが、地域の色々なところ、色々

な場面でお世話になりありがと

うございます。今後ともどうぞ

よろしくお願ひいたします。

## 小学校で福祉を考える

松ヶ崎小学校 校長 池田利勝

調べてみるとことから始めました。

社会福祉協議会とは、「社協」

の略称でも知られています。皆

様のまちでも福祉の向上に向け

て、さまざまな活動を行ってい

ただいています。民間の社会福

祉活動を推進することを目的と

した営利を目的としない民間組

織です。昭和二十六年（一九五

一年）に制定された社会福祉事

業法（現在の「社会福祉法」）に

基づき、設置されています。社

会

祉法人等の社会福祉関係者、保健・医療・教育など関係機関の参加・協力のもと、地域の人びとが住み慣れたまちで安心して生

活することができる「福祉のまちづくり」の実現をめざしました。子どもたちは、寸劇を通して良かつた点や悪かった点を互いに交

流し合う中から、認知症に対する理解を深めていくことができます。子どもたちの家庭にも認

知症の家族がいるかもしれませんし、今後いろいろな場所や場面

で遭遇することも多々出てくる

ことでしょう。そういうことを考

えると、小学校段階から、理解を

深めることはとても大切なこと

だと思います。ですから今年度も

継続していくかと思います。

福祉に関する現在の状況は、良

いとは言い切れません。社会保

障の費用の面からみた財務省の

発表のデータでは、二〇一二年

は、二・四人で一人の老人を支

えていましたが、二〇一五年に

は、一人の老人を一・八人で支え

なければならぬという結果が

発表されています。先行き大変不

安な状況が子どもたちを待つて

いるといつても過言ではありません

が、費用の面は、私が考えて

せんが、費用の面は、私が考えて

もどうにもなりませんので、気持

ちや思いで支援を考えていくよ

うに育んでいきたいと思います。

社会福祉協議会の皆様には、ご

無理をお願いしなくてはならない

ことが多々あると思いませんが、

今後ともよろしくお願ひ申し上

## すこやか学級

### 第一回 五月三十一日(金)

健康すこやか学級も十三年目に入りました。学級の始まりに先立ち、林顧問より、長生きの秘訣は、「教育」と「教養」にあるとのお話を伺いました。

「教育」とは、「今日、行くところがある」。「教養」とは、「今日、用がある」つまり、日々目的を持ち、充実した生活を送ることが何よりも深みある内容でした。

当時は十三名の御出席。いつものように血液測定と問診を済ませ、いよいよ新年度の学級のスタートです。

まず、吉田先生のキーボードに合わせ、挨拶と季節の歌をうたい、それから「桃太郎」の曲に合わせ、懐かしい「おじやみ」をしました。昔遊びは素晴らしい知恵と工夫がありますね。皆さんのお手技もさすがです。

一時間目は、井栗先生のクイズで頭の体操です。皆さん、ご一緒に挑戦してみて下さい!! 羊羹、太鼓、本棚、魂を数える単位は何でしょう?

次は漢字の読み。栗鼠、鴛鴦、蒲公英は? 更に外来語は? 筆順は? 等々の出題で、まさに前頭葉の活性化です。

二時間目は、宮看護師長さんより「嚙下障害と誤嚙性肺炎」についての健康講話を受けました。誤嚙性肺炎予防の一つとして、嚙下機能の低下を防ぐための「健口体操」を教わりました。「むすんでひらいて」の曲に合わせ、口を大きく開けたり、キュッと閉じたり、舌を出したりして、口・舌・頬など

子でティータイム。そして三時間目。男女対抗戦で、パーゴルフを楽しみました。いろいろな大きさの箱をホールに見立てて、紙のボールとステイツクで打ち入れるゲームです。

パーゴルフの経験者や力のある男性のほうが断然有利と思いきや、丁寧にゆっくりとボールを打つ技が勝り、女性軍の圧勝でした。

四時間目は工作。五月の母の日、六月の父の日に因み、両親を偲んでの取り組み。封筒で臉に浮かぶ人形を作りました。皆さん、着物



どの筋肉を刺激します。また早口言葉もよいそうです。是非日常に取り入れてみて下さい。より良い食生活と健康を維持するためにも、口腔内を清潔に保ち、適切なケアと肺炎予防に心がけましょう。

最後に、クイズの答え合わせです。羊羹(棹)、太鼓(張)、本棚(架)、魂(柱)。栗鼠(りす)、鴛鴦(おしどり)、蒲公英(たんぽぽ)。いかがでしたか。

### 第二回 七月十九日(金)

今年は、七月八日に関西地方が梅雨明けをして、連日猛暑が続きました。山鉢巡回も過ぎ、今日は少し暑さも一息つけそうです。十四名の方がお元気にしてくださいました。それぞれ席についてくださいました。それぞれ席について、京都博愛会病院の高木看護師さんより血圧測定と健康チェックを受けられました。

学級は、午前十一時から林先生のユーモアたっぷりの挨拶で始まりました。吉田先生の歌に合わせ出席点呼。六月のお誕生の方は六名(高木看護師さんと他一名のボランティア含む)で、ハッピーバースデイの歌で祝福しました。

午前の一時間目は、高木看護師さんのお話です。寝たきりや認知症になる原因は、脳血管障害と骨折によるものが多いです。寝たきりや認知症になる原因は、脳血管障害と骨折によるものが多いです。寝たきりや認知症になる原因は、脳血管障害と骨折によるものが多いです。

活習慣を見直すことと、家につまずきやすいものを置かないよう注意することをあげられました。博愛会病院では、リハビリのために、フラダンスをしていられるところで、博愛会病院の三美女(高木、吉田、井栗各先生)がフラダンスのスカートを着けて、ま

や服型を思い出しながらの作品制作。思いいつかいの中で、心温かなひと時を過ごされました(人形は御本人そつくり!!)。じつとしていても額に汗が滲むような暑い日でしたが、楽しく終ることができました。

最後に、クイズの答え合わせです。羊羹(棹)、太鼓(張)、本棚(架)、魂(柱)。栗鼠(りす)、鴛鴦(おしどり)、蒲公英(たんぽぽ)。いかがでしたか。

その後、みんなも音楽に合わせてフラダンスを踊りました。

心はハワイへ行つた気分で二回も踊りました。

昼食は、はもの梅酢あえも入った幕の内弁当に満足でした。

二時間目は、井栗先生による漢字クイズです。『錫蘭』はどこの国? 答え、「スリランカ」となかなか難問です。漢字の書き方順も、一世代前とは違つていて、みんなで楽しく考えました。その他、言葉の語源や、謡にててくる漢字の間違い探しなど頭の体操をしました。

三時間目の工作は、誰の家にも入っている広告材料を使っての、役立つマグネット作りです。『病院の日を忘れないように』、『孫のメッセージを入れてもらう枠を作りたい』など、みなさま思い思いに素敵なマグネットを作られました。

最後は、慣例のすこやか体操でお開きとなりました。

ここで私たちにとって寂しいお知らせがありました。長年すこやか学級に出席して、クイズなどの正解率抜群の都倉清子様が、個人的な事情により、今日が最後のすこやか学級になる



とのことです。都倉さん、長い間ありがとうございました。どうぞお元気で！

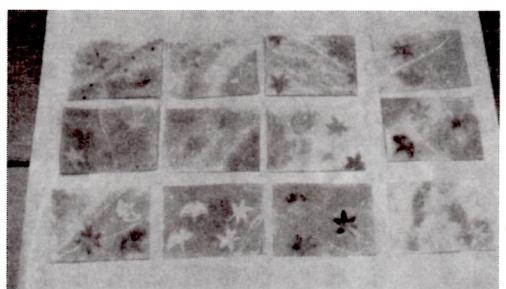
第三回 九月二十七日（金）

澄んだ太陽の光と爽やかな空気、そして初秋を感じるこの日、十一名の方にご出席頂きました。午前十一時より林顧問のご挨拶。「異常気象で災害が多い昨今。京都は古人曰く、豊穰の地、その内でも松ヶ崎は素晴らしいところ、ここで生活できることを感謝したい」というお話をしました。続いて、吉田先生の歌で出席点呼。八・九月生まれの方を誕生歌でお祝い。更に、秋の到来を喜びましようとして、童謡「虫の声」

昼食は、散らし寿司のお弁当。大麦の作成。まず金時豆ゲーム。これは六個のお豆を二つの箱に箸で移し変えるゲーム。まず、一回手で戻す。次は逆、利き手で移し変え、手で戻す。



上げの「風法」も難無く習得。まさに「秋に舞う落葉」を楽しんでいました。最後にスプレー糊を吹きかけて完成。作品を並べて写真撮影。最後はすました。今開気でした。



## 会食会 いれあい

六月二十一日(金)

**六月二十一日(金)**  
梅雨空の中、総勢七十七名のご参加  
で開催されました。

今回は、「健康・生活・安全」という三つのテーマに基づいた講演会を軸

にしたプログラムで進行されました。

来賓の松ヶ崎自治連合会の岩崎猛彦会長は、松ヶ崎町長の挨拶で始まりました。

長から、松ヶ崎は工芸学団に指定されており、その活動の一環として作成さ

れた散策コースが載せられた「松ヶ崎マップ」が配布され、皆様の健康増進

のため役立ててほしいとのご祝辞を頂きました。焼いて公ア奇ハ老校の也田

きました。続けて松ヶ崎小学校の沼田利勝校長からは、本年度の取り組みのテーマを、「あいさつ・あんぜん・あ



役員名簿  
松ヶ崎社会福祉協議会

役員	監顧事	会長代行	副会長	会長
会員	事務員	西村黒田	中島井北	中和梅浅
藤川嶋上	田原沼谷	立藤中井	関田林	大岩吉安
喜代子	佐代子	鈴幹理恵	久慈洋徹	洋禎和法
喜代子	佐代子	ゆき子	敬憲浩	弘文信
喜代子	佐代子	恵美子	久格	雄夫子
喜代子	佐代子	一之子	力子	雄子

## 寝具

## クリーニング



日々の健康生活は、まず快適な睡眠をつか。高齢の方に心地よい睡眠をお届けするため、七月十一・十二日の両

「消費生活総合センターへのお問い合わせは、075-256-0800まで」  
交通安全教室は、下鴨警察署の婦交さんと腹話術のアイドル人形「ケンちゃん」との掛け合いで、横断歩道の渡り方などを楽しく学びました。  
そして最後は、吉田・井栗両先生のリードで、ジャンケンゲームと赤・青・黒の入った歌合戦と恒例となつた閉会に当たつては、黒松副会長が敬老会でまたお会いしましようと挨拶され、盛会裡のうちに幕を閉じました。



と対処法」。  
消費生活専門員の廣瀬久美子様より悪徳商法から実を守る心得を教えて頂きました。

した。生命と財産を守るために、自分で守る、困ったときは消費生活総合センターに相談するとの助言を得ました。

（消費生活総合センターへのお問い合わせは、075-256-0800まで）

おやこまつり



九月十五日(日)

「松ヶ崎児童館創立三十周年、おめでとうございます!!」

本年度の松ヶ崎児童館主催の『おやこまつり』は、創立三十周年の記念行事として、来賓の方々・地域の方々・保護者・児童・学業修了者をはじめとする館に関わる大勢の人を迎えての式典で幕が開きました。来賓を代表して、岩崎猛彦松ヶ崎自治連合会会長より、「松ヶ崎は、地域で子供を育てる応援団です!!」と力強くエールを送られました。式典後はいよいよ「おやこまつり」。そのスタートを切つて、乳幼児クラブのとっても可愛い「ハトポンボ体操」の発表。次いで学童クラブによる元気いっぱいの歌と、日頃の遊びから、「コマ回し」「リズムゴム飛び」「剣玉」などの技の披露がありました。

日に実施いたしました。ご依頼のあつた三十六世帯から午前中に布団・毛布を回収。夕刻にはふかふかの状態で返却。玄関から玄関へという利便さに加え、負担金も格安ということで、好評を得ております。因みに、ご負担頂く金額は、布団（掛け・敷き）それぞれ六百円、毛布三百円、ボア毛布六百円と、格安になつております。まだお試しになつていな方は、ぜひ来年申し込まれてはいかがでしょうか。

お目見えの「手作りカレーライス」が大好評。

は、学童クラブの子供たちが「宝さ

がし」「たこせん」などのお店屋さんを体験。

内では、遊びコーナーや、児童による力作の「切り絵」の展示もありました。

午後からは、アフリカの太鼓を中心

に演奏活動を行つて、アフリカの太鼓

によるアフロパークションの賑

やかで軽快なリズムに合わせ、心も体

も踊りました。

前夜の大雨と台風の到来予報で、準備も大変であつたろうと思ひますが、

皆さんの祈りで、乳幼児さんからご年

配の方々と館内外溢れんばかりの多く

の来場者で賑わい、無事終了しました。

「松ヶ崎児童館のより一層の御発展を心より祈念し、今後とも応援してま

ります」。



△編集委員△

林 久 雄	梅 原 慶 子	関 口 力
古 谷 佐 代 子	中 川 美 術 子	岩 嶋 洋 子

## 印刷所

有限会社 章美プリント  
〒601-8441  
京都市南区西九条南田町41  
TEL 075-691-1624